

ふれあいネットワーク



社協

まつもと

想いをひとつに、広がる支援の輪

被災地へ松本からボランティア

屋内での救援物資仕分け作業（写真下）
岩手県山田町にて



被災者宅での汚泥搬出・除去作業（写真上）
岩手県大槌町にて

松本市社協では、東日本大震災で被災された方々や被災地の復興に向けた支援を行なうため、市民の皆さんからボランティアを募集し、5月29日から6月1日まで、岩手県山田町と大槌町で支援活動を行ないました。

熱い志のもとに集結したボランティア18名と無償で協力いただいた（有）てまりバス、（株）トラベル本舗の社員及び社協職員を含む22名は、津波の爪痕がいまだに残る現地で、一致団結して支援物資の仕分け、仮設住宅への荷物の搬入、個人のお宅での泥出し作業に取り組みました。

全国各地から支援の手が差し伸べられていますが、被災地の復興には、まだまだ時間がかかります。皆様のご理解、ご支援、ご協力をお願いいたします。（関連記事4～5頁「ボランティア情報「こてまり」」に掲載）

- ・松本市社会福祉大会開催のお知らせ…………… 2 P
- ・平成23年度社協事業の紹介及び予算…………… 2 P
- ・平成22年度社協決算…………… 2 P
- ・「成年後見支援センターかけはし」開設…………… 3 P
- ・訪問介護員養成研修2級課程受講生募集…………… 3 P
- ・北部地区センターゴミ出し協力会員募集…………… 3 P
- ・福祉まんが「あいちゃん」…………… 3 P
- ・ボランティア情報「こてまり」…………… 4～5 P
（東日本大震災関連記事）
- ・東日本大震災義援金について…………… 6 P
- ・平成22年度社協賛助・特別会員へのお礼と芳名… 6 P
- ・平成23年度社協会費のお願い…………… 6 P



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail: syakyoum@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

私にもできる安全・安心な地域づくり



ピアニスト辻井伸行さんの母が、子どもの可能性を語ります ～7月12日松本市社会福祉大会で～



◆日 時 平成23年7月12日(火) 午後1時30分～3時30分
 ◆会 場 松本市音楽文化ホール(島内4351 電話47-2004)
 ◆内 容 式典及び記念講演(入場無料)
 ◆記念講演 ◇演 題 「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」
 ～明るく楽しくあきらめない～
 ◇講 師 辻井いつ子氏
 ○問い合わせ 大会事務局 松本市社協 地域福祉課
 〒390-0833 松本市双葉4-16 市総合社会福祉センター内
 電話27-3381 F A X 27-2239

平成23年度 社協の主な事業と予算

第2次地域福祉活動計画の概要紹介

松本市社会福祉協議会では、地域の皆さんが取り組む共助の福祉活動を推進・支援するため、第2次地域福祉活動計画を策定しました。

全市共通の計画であった第1次計画と比べ、第2次計画では地区別地域福祉計画をベースとして、各地区ごとに地域福祉課題を抽出し、その課題の解決に向けて地域の皆さん・行政・社協が役割を担いながら協力して推進できるようまとめたものです。

- ◇ 基本方針 地域福祉の基盤づくり・町会福祉の推進・健康な地域づくり・地域の高齢者、障害者、子どもの支え合いづくり・安心して暮らせる地域づくり
- ◇ 重点事業 ・地域福祉の推進体制づくり・地域の見守り体制づくり
- ◇ 【地域(地区)住民の役割＝地域福祉の推進主体】住民が地域福祉の推進主体として、市及び社協と連携し、地域福祉の推進を図ります。
- ◇ 【市社協の役割＝地域福祉推進のサポート】市社協は、地域福祉推進の中核団体として、地区社協及び住民組織との連携を密にし、推進をサポートするとともに計画を実施するためのノウハウ等を提供します。
- ◇ 【市の役割＝地域福祉推進の支援】市は、保健・福祉等の公的制度による福祉サービスや各種行政施策とともに、地域福祉推進のための総合的な支援を行ないます。

収入の内訳 [予算は23億6,648万8千円です]

支出の内訳 こんな事業に使われます

区 分	金 額	構成率
1 社協会費	24,497千円	1.0%
2 共同募金配分金	24,166千円	1.0%
3 補助金	237,017千円	10.0%
4 受託金	131,644千円	5.6%
5 指定管理事業	358,857千円	15.2%
6 介護保険事業	928,221千円	39.2%
7 障害者自立支援事業	147,746千円	6.2%
8 その他	514,340千円	21.8%

区 分(内容)	金 額	構成率
1 地域福祉活動 ■ 地区社協・分会社協活動(地域福祉活動計画)の推進・支援 ■ 敬老行事、ふれあい会食会事業、町会児童遊園地整備補助等	90,292千円	3.8%
2 在宅福祉、福祉相談等 ■ 福祉なんでも相談、福祉法律相談等の実施 ■ 資金の貸付 ■ 成年後見支援センターの運営 ■ 車いす、福祉自動車の貸出し ■ 在宅介護者の集いの開催等	406,176千円	17.2%
3 ボランティア、福祉啓発等 ■ ボランティア活動の相談・啓発・育成 ■ 松本市社会福祉大会の開催、広報「社協まつもと」の発行等	28,084千円	1.2%
4 介護保険事業 ■ 居宅介護支援事業 ■ 訪問介護事業 ■ デイサービス事業等の実施	928,221千円	39.2%
5 福祉施設の運営 ■ 総合社会福祉センター、17の児童館・児童センター等の運営	437,906千円	18.5%
6 障害者自立支援事業 ■ 障害児・者居宅介護事業の実施等	147,746千円	6.2%
7 その他 ■ 福祉団体への支援、事務費、運営費等	328,063千円	13.9%

平成22年度 社協決算

収入の内訳 決算額20億3,672万1千円

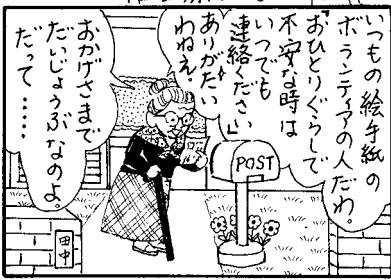
支出の内訳

区 分	金 額	構成率
1 社協会費	24,356千円	1.2%
2 共同募金配分金	25,396千円	1.2%
3 補助金	252,350千円	12.4%
4 受託金	136,645千円	6.7%
5 指定管理事業	339,205千円	16.6%
6 介護保険事業	1,003,781千円	49.3%
7 障害者自立支援事業	159,963千円	7.9%
8 その他	95,025千円	4.7%

区 分	金 額	構成率
1 地域福祉活動	85,744千円	4.2%
2 在宅福祉、福祉相談等	117,932千円	5.8%
3 ボランティア、福祉啓発等	22,905千円	1.1%
4 介護保険事業	1,003,781千円	49.3%
5 福祉施設の運営	378,850千円	18.6%
6 障害者自立支援事業	159,963千円	7.9%
7 その他(事務費、運営費等)	267,546千円	13.1%

あいちゃん

作・上原ゆう子



「成年後見支援センターかけはし」がオープンしました

松本市社会福祉協議会では、松本市、安曇野市、生坂村、山形村、筑北村の2市3村の援助により、平成23年4月1日から、成年後見制度に関する相談や、広報・啓発、また法人後見などに取り組む「**成年後見支援センターかけはし**」を新たに立ち上げました。

成年後見制度は、介護保険制度と同時に整備され、判断する力が不十分な高齢者、障害者の方々に、契約代理、財産管理などを後見人等が行なうことによって地域で安心して生活していくことができる制度です。この制度がはじまって10年が経過しましたが、手続きの煩雑さやお金がかかるというイメージから、利用が進んでいない現状です。



そこで、住民の皆さんが地域で安心して生活していただくために、制度利用の促進を図ってまいります。当センターでは、週2回弁護士・司法書士が専門相談を行なうほか、社会福祉士2名が常時相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】 松本市梓川2288-3(松本市役所梓川支所内)
松本市社協 成年後見支援センターかけはし 電話88-6699

訪問介護員（ホームヘルパー）養成研修2級課程受講生募集！

訪問介護員として必要な知識と技術を修得する、**ホームヘルパー2級課程の養成研修会**を開催いたします。

- ◇ 募集期間 平成23年7月1日（金）～7月6日（水）
- ◇ 研修期間 平成23年8月4日（木）～11月14日（月）
- ◇ 研修場所 松本市総合社会福祉センター他介護保険施設等



- ◇ 受講対象者 ①松本市内にお住まいの50歳位までの方 ②全日程を必ず受講できる方 ③原則として普通運転免許をお持ちの方 ④地域等で介護保険事業の担い手となれる方
- ◇ 募集定員 18名（応募者多数の場合は選考いたします）
- ◇ 受講料 30,000円（テキスト代・資料代含む）
- ◇ 問い合わせ 松本市社協 在宅福祉課 電話25-3133・内線122・123

ゴミ出しサービスの協力会員を募集しています

高齢者や障害者世帯のゴミ出しをお手伝いして下さる協力会員（資格は不問）を募集しています。

- 分別済みのゴミを、利用会員のお宅からゴミステーションに出すサービスです
 - 謝 礼……1回につき100円
 - 事前登録が必要です
- 都合のよい時間帯等、相談に応じます。お気軽に問い合わせください。

【問い合わせ】

松本市元町3-7-1（ふくふくらいうち）松本市社協 北部地区センター 電話38-7670



ボランティア情報 **こてまり**

●『こてまり』はこんな情報を発信しています！

ボランティア活動についての情報・活動者、団体の紹介・講習会や行事などの紹介

●問い合わせ/記事掲載の申し込み

松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター TEL(0263)25-7311 FAX(0263)27-2239

～特集～ 東日本大震災支援活動の報告

平成23年3月11日午後2時46分、太平洋宮城県沖で発生したM9.0の巨大地震により大津波が押し寄せ、沿岸の広い範囲で、多くの尊い命と平和な町を奪っていきました。数か月経った今でも、被災地は痛ましい爪痕が残ったままのところも多く、被害の全容もつかめないままです。それでも、被災者の方々自身や支援する多くの人々の力で、少しずつですが確実に復興への道を歩み始めています。

～職員派遣～



山田町災害ボランティア
センター本部

全国の社協が連携し、職員が被災地へ派遣されています。長野県は岩手県山田町と大槌町で支援活動にあたることになり、松本市社協からも交代でボランティアの需給調整役として参加しています。派遣された3名の職員の体験記を紹介します。

4月23日から山田町への支援に参加しました。山田町は震災直後、津波が襲い、さらにガス爆発により街中が火災に見舞われ、焼け野原となりました。捜索活動のためヘリコプターが低空飛行で飛び、赤色灯を回した警察、自衛隊車輛が列をなし騒然とした状態でした。報道されているままの世界を目の当たりにし、これが現実……と戸惑いました。また、焼け野原の町内を制服を着た中学生が通学していく姿を見て複雑な思いを抱きつつも本当に強く生きているんだな～と感じました。そして少しずつですが、毎日確実に復興に向け時が流れているのを実感しました。

毎日ボランティアの皆さんが訪れ活動されています。雨の日でも物資仕分けなどさまざまなニーズに対応していました。

山田町でも仮設住宅が建設され随時被災者が移っていますが、まだまだ充足されない中、これからも息の長い支援とボランティア活動が必要だと思いました。

地域福祉課 古幡安志

5月5日から大槌町災害ボランティアセンターでボランティアの受付、ニーズの調整などの業務支援をしてきました。この災害で、町の社会福祉協議会の機能も壊滅的な被害を受け、災害ボランティアセンターも外からの応援で立ち上がったということですが、「被災者本位」「地元主体」「安全管理」を基本に掲げ、復興めざして運営されていました。

被災地復興のためには、ボランティアの支援は不可欠であり、その調整をする災害ボランティアセンターは重要な役割を果たします。今回の災害であらためてそのことを認識し、松本市で大災害が起きて社協が災害ボランティアセンターを立ち上げ、運営する事態になった時、発生するトラブルや課題を想定し、整理しておく必要性を強く感じました。スムーズなセンター運営は、復興の足がかりのひとつになるからです。

今回の災害は被害の甚大さから、ボランティア支援は長期化し、支援の内容も時間の経過とともに変化し、多種多様化すると考えられます。一時的なお祭り騒ぎではなく、今後も細く長い支援体制が大切だと思います。

地域福祉課 中村ひとみ



大勢が津波の犠牲になった大槌病院

力を合わせて瓦礫の撤去



5月21日から大槌町へ行きました。ボランティアの方々の主な活動は、家屋内外の瓦礫の撤去や泥出し、土砂の片づけでした。他にも何かできることはないかと寸暇を惜しみ、スタッフが声をかけないと活動が終了しないこともありました。そして帰るときには疲れも見せずに清々しい顔で「来てよかった、また来たい」と話す方が多く、助け合いの心から生まれる『絆』を感じました。

災害発生から3か月以上が経過しましたが、被災者の方々は生活再建への不安による精神的な不調、また梅雨時をむかえての衛生的な問題などを抱えており、課題はまだ山積んでいます。被災地にいなくても常に被災地を注視していく必要があると思います。救援物資などについてもホームページなどで正しい情報を得ながら、皆さんには引き続き支援をお願いしたいと思います。

地域福祉課 高山一郎

～ボランティア活動～

市民22名バスで岩手県へ 被災地で復興支援活動

(有)てまりバス(今井)や㈱トラベル本舗(井川城)のご厚意により松本市社会福祉協議会でボランティアを募集し被災地へ行っての支援活動が実現しました。

*日 程

- 5月29日(日) 松本市出発 岩手県釜石市に宿泊
- 5月30日(月) 山田町に移動し、終日活動(釜石市に宿泊)
- 5月31日(火) 大槌町に移動し、終日活動(釜石市に宿泊)
- 6月1日(水) 釜石市出発 陸前高田市経由で松本着



雨の中の搬入作業

三月十一日発生の東日本大震災被災地の一つ、岩手県大槌町は皆さんご存じと思います。町長さんが津波の犠牲となり六月十八日現在で死者七百八十人、行方不明者八百二十七人という甚大な被害の町です。

松本市社協は、五月二十九日から六月一日まで、この大槌町にボランティア第一陣を送りました。一行は二十二名。うち女性は五名で年齢も職業もさまざまですが、社協の呼びかけに応じて「少しでもお役に立ちたい」と参加した人たちです。

松本から十一時間かけて二十九日夕方に宿泊地釜石に着いた二十二名は翌三十日、雨と強風の中、さつそく仕事に着手しました。大槌町の災害ボランティアセンターの方針で雨天の際は作業中止ですので山田町へ出向きました。ここも激甚被災地です。

折りからの台風の影響で横殴りの雨に打たれながら、三方所の仮設住宅を回って荷物運びを行ないました。当面の生活に必要な物を入れたダンボール箱を、一行の後から到着するトラックから受け取ってリレー方式で各戸へ届けて行きます。

時々「ハイッ！」と元気な声で励まし合いながら荷物を手渡していく作業は、なるべく濡れないように迅速を要します。ふとんを入れた大きなダンボール箱などは、しつかり踏ん張つての搬入です。宿舎へ戻って「お互いよくがんばったなあ、寒さを感じなかったよ」と感想を述べ合っていました。

松本を出発して三日目。五月最後の日は一転して晴天。大槌町での活動は沢山地区のAさん宅へ。この一帯は、ここまでは津波が来たことはない、とされていたそうです。今回Aさん夫妻も間一髪、命拾いをしましたが地区全て瓦礫と化し、二千口先から浮き棧橋が流れ着いたという惨状です。

山を背にしたAさん宅は辛うじて流されなかったものの、一階は目を覆う有様です。台所では床板をはがしヘド口を掻き出して袋へ入れ、一輪車に積んでは外へ運び出して行きました。ヘド口の臭気袋の重さに閉口しながらです。

今回、無償でバスを提供していただいた「てまりバス」のドライバークさん、旅行会社「トラベル本舗」添乗員のOさんも常に一緒に作業。Aさん宅では倉庫の方の泥出しも行なって、さすがに疲れた様子の一行でしたが「被災者の身になって、何のこれしき」と意気軒昂でした。

山田町のボランティアセンターのMさんが「松本の皆さんは素晴らしい」と言われたことが何よりのねぎらいでした。

ボランティアとして参加した北村明也さん

『社協まつもと』編集委員 記



被災したお家で泥出し作業

参加者の声

- ・以前には逢ったこともない22名が一つのチームになり、僅かでも東北の皆さまのために活動でき、少しホッとしています。
- ・津波の被害の大きさに言葉を失いました。日常生活を感じさせる物が散乱し胸が潰れる思いでした。特に女兒の片方だけの長靴を発見した時は、涙をこらえられませんでした。
- ・支援物資の仕分け作業では、自分がこれをもってどう思うのか?というようなものがたくさんあり、送る側のモラルの大切さ、物品で支援することの難しさを感じました。
- ・自分たちはどのくらいお役に立てたのかわからないけれど、全国から集まった大勢の人たちの力で、少しずつでも復旧していることを実感し、これからもボランティア、物資や義援金の提供など継続的に支援することが必要だと思いました。
- ・活動中、町の方々から頭を下げいただき、恐縮しました。
- ・被災地の惨状、支援活動の現場を見ることができ、この体験を周りにも伝え、今後活かさなければと思いました。今回バスや、宿泊場所まで確保していただき、ありがとうございました。

今後の被災地での災害ボランティア募集

岩手県山田町または大槌町での復興支援活動に参加していただける市民を今後も募集していく予定です。

第2回は7月18日(月)～7月21日(木)に実施します。また、8月から10月にかけても継続していく予定ですので、社協ホームページや新聞等で日程をご確認いただき、ぜひご協力ください。詳しい問い合わせはボランティアセンターまで

TEL: 25-7311

「東日本大震災」義援金の使途について 松本市社協内日赤窓口で受け付けた義援金 1,808万7千円



このたびの東日本大震災の被災地復興のために、市民の皆さんから18,087,901円（266件、社協日赤窓口取り扱い分：6月20日現在）の義援金をお寄せいただき、ありがとうございました。

また、日本各地から日本赤十字社及び中央共同募金会に寄せられた義援金総額は、2,822億円（6月17日現在）となっております。

この義援金は、厚生労働省の「義援金配分割合決定委員会」で、①死者・行方不明者1人当たり：35万円②家屋全壊・全焼・流失：35万円、半壊・半焼：18万円③福島第一原発避難指示・屋内退避指示圏域の世帯：35万円と決められ、被災した15の都道府県から市町村を通じて被災者に送られています。未曾有の震災により、被害状況の全容把握までには依然、時間を要しており、今後、追加配分も予定されています。

義援金は、9月30日まで受け付けています。市民の皆さんのご理解・ご支援を引き続きお願いいたします。

平成22年度社協の賛助・特別会員ご協力ありがとうございました

賛助・特別会員の芳名を掲載いたします。（平成22年4月1日～平成23年3月31日 順不同・敬称略）



向井建設(株)、高宮組(株)、松本車輛(株)、(株)トラベル本舗、(株)ナガキユウ、松本ガス(株)、富士防災設備(株)松本支社、(株)公害技術センター、松本市公設地方卸売市場協議会、日本連合警備(株)、(株)デイリーはやしや、セブンイレブン四賀錦部店、青木新聞販売店、(株)山口自動車工業、なかじま歯科医院、(株)青木組、SGC信州ゴールデンキャッスル、(株)大将、(株)菊水醸造店、(株)齊藤建築、(有)エムライン、(農)会田共同養鶏組合、(株)熊田工務店、松本信用金庫明科支店四賀(出)、JA松本ハイランド四賀支店、(有)金井測量設計事務所、(有)本林新聞店、会田自動車、イーストアー日の出、朝日観光自動車(株)、四賀石油商会、金井電気商会、山幸堂写真店、丸山鉄工所、(有)本郷商店、(株)藤森組、四賀むらづくり(株)、竹内製作所、ほそばら、武川総業(株)、(有)久保製作所、(株)望月組、(株)草田組、(株)内川工務店、きよみ亭、信州印刷(株)、信光石油(株)、(株)朝日総業、風穴の里、松本市建設事業協同組合、行政システム(株)、富士電機 I T ソリューション(株)信越支店、(株)信越報知、上條鋼材(株)、電算印刷(株)、(株)テレビ松本ケーブルビジョン、松本事業(株)、(株)シマコー、川重冷熱工業(株)、(株)モモセボデー、清水口建設(株)、乗鞍温泉供給公社、(有)中村屋百貨店、(株)大野建設、安曇石産(有)、金多屋建設(株)、(有)泡の湯旅館、(有)かつらの湯丸永旅館、(有)山水観湯川荘、(株)笹屋、(有)湯元斎藤旅館、山水館信濃、坂巻温泉旅館、中の湯温泉旅館、大正池ホテル、上高地帝国ホテル、上高地食堂、山のひだや、上高地アルピコショップ、(株)五千尺、日本アルプス観光(株)、上高地温泉ホテル、上高地清水屋ホテル、上高地アルペンホテル、上高地西糸屋山荘、上高地ホテル白樺荘、嘉門次小屋、明神館、徳沢ロッヂ、徳沢園、上高地タクシー運営協議会、(有)涸沢小屋、涸沢ヒュッテ、殺生ヒュッテ、(有)ヒュッテ大槍、徳本峠小屋、(有)槍沢ロッヂ、北穂高小屋、(有)西穂山荘、(有)奥上高地横尾山荘、蝶ヶ岳ヒュッテ、(有)日本アルプス常念小屋、松本シェル石油(株)、(株)松本事務機サービス、(有)大池製作所、サンニクス(株)、(株)タキワ、(有)犬飼工業、丸中運送(株)、(株)小石興業、アップルランド波田駅前店、松本信用金庫波田支店、(株)長野銀行波田支店、丸中建設(株)、(株)あずさ環境保全、波田土建(株)、あずさプレジジョン(株)、(株)フカサワイール、大栄産業(株)、波田木材(株)、(有)アシワラ通信工業、東京電力(株)梓川総合制御所、松本ハイランド農業協同組合波田支所、(株)小松種鶏場、(株)八十二銀行波田支店、(有)波田新聞店、(有)野村石油商会、アルピコタクシー中央(株)波田営業所、(有)山太波多腰商店、(有)ガモウ商店、デザイン計画(株)、(有)川澄写真店、(有)クモイエージェンシー、松本三和商会(株)、(株)日医調剤波田薬局、中信特殊鋼(株)、(有)富創設備、(株)エム・イー・シー、(有)酒井衣料、(有)逸見石材、(有)深沢石油、(株)瑞穂会館、(株)協同機械化センター、(有)三光商店、あいおいニッセイ同和損害保険(株)代理店藤巻大助、(有)井戸本機械



阿部政男、奥原岩雄、奥原哲雄、奥原守人、奥原実雄、勝山洋一、勝山重人、忠地梅三、橋本実嗣、小松陽子、藤野一康、西牧みや子、長崎 徳、西牧 洪、金井勝代、草間文男、二村愛民、山田充春、古西牧政子、降幡享子、鍵田敏子、木藤万壽男、長崎 仁、巾嶋捷兵、丸山 弘、池上明美、福嶋 弘、福嶋晴信、竹内貞子、田多井幸人、木村靖晴、伊東美津子、小口佳伯、木船智二、鳥羽武義、大野昭三、大野 晃、宮下郁人、中原喜四郎

社協会費及び・賛助・特別会員加入のお願い

社協会費の種類



一般家庭

世帯会費
年額 300円

・市内の全世帯にお願いするものです。



施設・団体

施設・団体費
年額 2,000円

・福祉施設・団体等にお願いするものです。



個人

特別会費
年額 1口
1,000円以上

・社協事業に賛同してくださる個人にお願いするものです。



会社・法人

賛助会費
年額 1口
10,000円以上

・社協事業に賛同して下さる法人・会社にお願するものです。

社会福祉協議会は市民のための福祉団体です。

運営は市民の皆さんからの「会費」や「共同募金」、県・市からの補助金や委託料などが充てられ、さまざまな福祉事業を行なっています。

皆さんから納入いただく会費は、市社協及び地区社協が行なう各種事業の貴重な財源となります。ご協力いただきますようお願いいたします。

○ 問い合わせ 松本市社協 地域福祉課

電話 27-3381

「社協まつもと」はみなさんからの共同募金の配分金で発行されています。